

Japanese

1st edition

SUMIDA RIVER WALK

エリアマップ

TokyoTokyo

TJTB U Group

浅草 エリア

東京下町の代表的な観光地のひとつで、世界中から人々が集う人気エリア。浅草寺・仲見世通りをはじめとし、長く続く和菓子店や土産店が軒を連ねる。

すみだリバーウォーク・東京ミズマチ® エリア

浅草と押上という2つの観光地をつなぐ水辺のまち。この地に根付いた、“人・地域・文化・にぎわい”を広げ、新しい下町カルチャーを生み出していく。

東京スカイツリータウン® エリア

東京スカイツリー®のふもとに広がるエリア。下町に続く伝統と粋な文化が融合したエンターテインメントの街。東京の新たな魅力を世界へと発信する。



01 浅草演芸ホール

QMAP A-2 Culture

気軽に落語を楽しめる寄席。
東京に4か所ある落語定席のひとつで、365日無休で公演を行っている。落語のほかにも漫才や手品などバラエティに富んだ演目を楽しめる。原則的に昼と夜で入れ替えがなく全席自由席のため、初めてでも気軽に訪れてみよう。

02 珈琲 天国

QMAP A-2 Cafe

昔ながらの正当派ホットケーキ。
昭和を感じさせる懐かしい雰囲気天国。浅草散策の途中でひと息つくのにぴったりだ。昔ながらの味わいのホットケーキは、小麦粉をブレンドし、生地は注文後に作るこだわり。ユーモア溢れるグッズの数々にも注目だ。

11 浅草愛和服

QMAP B-2 try

観光用の着物レンタルショップ。
着物を着て浅草観光をしたい！そんな願いを叶えてくれる着物のレンタルショップ。ヘアセットもプランに含まれていて、グループやカップルなどのプランも豊富だ。大きな荷物も預かってくれるため安心して観光できる。

12 ちいさな硝子の本の博物館

QMAP B-3 try

ガラスに好きな柄を彫れる。
墨田の職人が吹き製法で手作りした、ガラス製品の販売と、そのガラスに好きな柄を彫るリユーター体験ができる。ガラス製品の販売もを行っているほか、ガラス関連の本や資料を自由に読むこともできる。(体験は要予約)

21 小梅児童遊園

QMAP C-2

ボール越しの東京スカイツリー®。
東京スカイツリー®から道を挟んだところにある小さな公園。ここには161本のボールが建てられた「おぼろげ」というアート作品がある。ボール越しに東京スカイツリー®を見上げれば、いつもと違った姿を楽しめる。

22 UNLIMITED COFFEE BAR

QMAP C-3 Cafe

お酒も楽しめるコーヒーショップ。
押上にあるお洒落なコーヒーショップ。風味豊かなシングルオリジン・スペシャルティコーヒーを、プロのバリスタが様々な方法で抽出してくれる。食事やスイーツのほか、コーヒーカクテルなどのアルコールも楽しめる。

03 舟和

QMAP A-2 Takeaway

芋ようかんが有名な老舗和菓子店。
舟和の芋ようかんといえば、浅草の定番土産のなかでも昔からの人気商品だ。雷門近くに手掛けた「ふなわかふえ」では、和と洋をミックスさせた芋のスイーツを提供している。

04 浅草花やしき

QMAP A-1 Leisure

レトロ感溢れる日本最古の遊園地。
1853年に花園(かえん)としてオープンした日本ひとつ。ほかにもあんど玉やみつ豆、あんどみつなども昔からの人気商品だ。雷門近くに手掛けた「ふなわかふえ」では、和と洋をミックスさせた芋のスイーツを提供している。

13 隅田公園

QMAP C-2 Leisure

桜や隅田川花火大会で有名な公園。
隅田川沿いにあり、台東区と墨田区にまたがる公園。春は屈指の桜の名所として知られ、夏には隅田川花火大会が桜の光景と合わせて有名。ほかにも梅やアジサイなどの四季折々の花や、東京スカイツリー®の眺めも楽しめる。

14 源森橋

QMAP C-2

鉄道と東京スカイツリー®の共演。
2007年に架橋された橋。東側の歩道から東武スカイツリーラインを走る鉄道と東京スカイツリー®を同時に撮影できるため、写真愛好家の間でも人気のスポット。「支え合う」をテーマにしたオブジェが置かれている。

23 バナナファクトリー

QMAP D-2 Cafe

バナナスイーツの専門店。
閑静な路地裏にあるバナナスイーツの専門店。小さな店内にはカウンターとテラス席があり、バナナジュースもテイクアウト可能。人気No.1はバナナパイで、ショートケーキやシュークリーム、プリンなどにももちろんバナナを使用。

24 みりん堂

QMAP D-3 Takeaway

大正から変わらぬ味の焼きたて煎餅。
大正12年創業の煎餅店。手焼きの煎餅には、90余年継ぎ足してきた醤油ダレを使用。数十種類の煎餅のほか、めれせんとソフトクリームがコラボした新名物「めれそと」もおすすめ。週末には実演販売も行っている。

Column

隅田公園の歴史

ここは、江戸時代には徳川御三家のひとつである水戸徳川家の下屋敷・小梅邸があった場所。1923年の関東大震災で焼失するまでは、代々水戸徳川家が住んでいた。北十間川から隅田川につながる舟運の要衝であり、街道の拠点でもあった。
隅田公園は関東大震災後の復興事業の一環として、浜町公園、錦糸公園とともに計画された震災復興三大公園のひとつ。計画の途中で小梅邸跡も公園に含むこととなったため、池や遺構を日本庭園として取り入れた趣ある公園となった。
桜で有名な隅田公園だが、この地に最初に桜を植えたのは徳川4代将軍家綱で、江戸時代から人々に親しまれていた。また、公園内にボートの艇庫やプールなど、臨水公園のイメージを活かした施設を組み込んだことで、当時は近代的な公園設計として注目された。現在は船着場や桟橋、水上バスのりばなどがあり、景色が変わった今でも変わらず舟運の要衝としての役割を果たしている。

05 浅草 花月堂 本店

QMAP A-1 Takeaway

ふわふわのジャンボあんぱん。
本店だけで1日に3000個販売されるという「ジャンボあんぱん」で有名な店。通常の約3倍の時間をかけてじっくり発酵させるため、外はカリカリで中はふわわり。浅草にはほかにも、雷門店、馬道店、新仲店がある。

06 浅草寺 御朱印

QMAP A-1

年間約3000万人が訪れる定番スポット。
年間約3000万人もの参拝客で賑わう都内最古の仏教寺院。雷門から本堂までの仲見世には、土産店や雑貨店など多くの店が軒を連ねている。浅草寺の境内からも東京スカイツリー®がきれいに見え、新旧の対比が美しい。

15 東京スカイツリー®・浅草連絡歩道橋 すみだリバーウォーク

QMAP B-2

浅草と東京スカイツリー®を最短で結ぶ歩道橋。
2020年6月に既存の鉄道橋に新設された歩道橋。浅草と東京スカイツリータウン®を最短で結ぶ。一部がガラス床になっており、真下を通る船をのぞくことができる。

16 LAND A

QMAP B-2 Cafe

食を通して笑顔が生まれ、温もりと安らぎを感じるLAND A。
東にはスカイツリー、西には浅草。そんな観光名所の中心に、地域の人々が笑顔で集まり、温もりや安らぎのあるカフェ&ダイニング。産地に拘り、季節を感じさせるカジュアルダイニングメニューがそれぞれのテーブルを盛り上げる。

25 すみだ水族館

QMAP D-2 Leisure

東京ソラマチ®にある都市型水族館。
東京ソラマチ®5、6階にある水族館。特に人気なのは、小笠原諸島の海を再現した「東京大水槽」や、ペンギンやオットセイを間近に見られる「屋内開放プール型水槽」などのエリア。季節ごとイベントも盛りだくさんだ。

26 お城森八本舗

QMAP D-3 Takeaway

変わらないおいしさの和菓子店。
昭和8年創業、昔ながらの伝統を受け継いだ和菓子店。栗が丸ごと1つ入った栗もなかや栗まんじゅうなどを提供する。和菓子には独自の製法で作った餡を使用。地元のランドマークとしてのイベントも盛りだくさんだ。

Column

隅田川橋梁に添架された『東京スカイツリー®・浅草連絡歩道橋 すみだリバーウォーク』

東武鉄道を浅草駅まで延伸するため、1931年に架けられた隅田川橋梁。隅田川の景観に配慮した曲線的なデザインを取り入れるとともに、電車内から橋梁の部材が見えないよう工夫されている。その橋梁に添架する「東京スカイツリー®・浅草連絡歩道橋 すみだリバーウォーク」。「新たな水辺整備のあり方検討会(事務局:東京都)」の提言に基づいて整備され、ともに年間3,000万人以上が訪れる浅草と東京スカイツリー®エリアを、最短で結ぶ歩道ルートとなった。鉄道高架下につくられた東京ミズマチ®やテラスなどとともに、この二大観光拠点の回遊性を高め、水辺エリアの魅力向上と地域の核となるにぎわい空間を目指す。また歩道橋の新設に合わせて、隅田川橋梁のカラーデザインを東京スカイツリー®の「スカイツリーホワイト」に刷新。橋梁と東京スカイツリー®に統一感を持たせることで、ひとつのエリアとしての一体感を生み出している。

07 木村家本店

QMAP A-2 Takeaway

浅草名物・人形焼の老舗店。
浅草名物のひとつである人形焼。こちらは江戸創業の人形焼の老舗で、初代の味を変わらず守り続けている。浅草にちなんだ五重塔や雷様、提灯、鳩をかたどっているため、創業の頃は「名所焼」と呼ばれていたそう。

08 文庫屋大関 浅草店

QMAP A-2 Souvenir

職人による牛革の伝統工芸品。
文庫革という革工芸品の店。真っ白な牛革に型を押し、手書きでひとつひとつ着色している。浮世絵やエジプトの壁画、ヨーロッパのタイル模様など、柄は100種以上。たくさんアイテムからお気に入りの一つを見つけよう。

17 KONCENT

QMAP B-2 Shop

モノをつくる人と使う人をつなぐ、デザインのプラットフォーム。
創る人と造る人を、そしてモノを使う人をつなぐ。モノづくりの発信基地、KONCENT(コンセント)。アッシュコンセプトが手がけるデザインプロダクトを中心にさまざまなアイテムが並ぶ。

18 Jack's Wife Freda

QMAP C-2 Restaurant

ZAGAT認定「NY1美味しい」と評判のオールデイダイニング。
ニューヨークにある人気の行列店がついに日本初上陸!レストランガイドZAGAT SURVEYが選ぶ「NYCベストアボカドトーストを出すお店」にも選出。新しい東京の暮らしに加えたい「街の小さなレストラン」。

27 見番通り

QMAP C-1 Street

向島花柳界の中心の通り。
見番とはその土地の料理店・芸者店・待合の業者が集まってつくる事務所の俗称。見番通りの北側や墨堤通りの東側には向島花街と呼ばれる一角があり、現在も20近い料亭が店を構えている。

28 おしなり橋

QMAP D-2

タワーを足元から見上げられる橋。
東京スカイツリー®開業時に作られた、押上と業平を結ぶ小さな歩行者専用橋。両岸の地名である押上と業平から半分ずつ取って名付けられた。ソラマチ広場前にあり、大迫力の東京スカイツリー®を足元から眺められる。

09 御菓子司 亀十

QMAP A-2 Takeaway

東京を代表するどら焼きのひとつ。
東京3大どら焼きのひとつといわれる亀十のどら焼き。伝統の技法でひとつひとつ焼き上げられ、ふんわりとしたやさしい食感。行列必至で夕方には売り切れることも。黒あん和白あんがあり、それぞれ違う味を楽しめる。

10 犬印砲製作所 浅草本店工房

QMAP B-2 Souvenir

浅草生まれの手作り帆布カバン。
戦後間もない頃から帆布製バッグを作り続けるカバン店。使うほどに味わい深くなる帆布は、一日に数十メートルしか織れない力織機で手間暇かけて作られている。流行に左右されないシンプルでデザインも魅力のひとつ。

19 WISE OWL HOSTELS RIVER TOKYO

QMAP C-2 Hotel

世界中の旅人達と地域の賑わいを創出するコミュニティ型ホステル。
東京ミズマチ®に誕生するWISE OWL HOSTELSのテーマは「RIVER」。併設するカフェ&BARやオープンスペースは、住む人と、訪れる人が交流し、体験できる空間。「遊びに来るホステル」としてすみだの魅力を発信していく。

20 shake tree DINER TOKYO

QMAP C-2 burger&bar

想像しなかった自分すら想像しよう! LET'S HAVE FUN。
“Let's have fun! お客様と一緒に全てを楽しむ”がモットー。パンスの代わりにパティを使用したバーガーはインパクト抜群。

29 コニカミルタプラネタリウム“天空” in 東京スカイツリータウン®

QMAP D-2 Leisure

“非日常”と星空の感動を。
東京スカイツリータウン®7階にある大人のためのエンターテインメントプラネタリウム。人気アーティストとのコラボ作品や、オリジナルアロマが香るヒーリング作品なども楽しめる。特等席の三日月シートもおすすめ。

30 郵政博物館

QMAP D-2 Museum

日本の郵便にまつわる博物館。
郵便や通信に関する収蔵品を展示する博物館。日本最大の約33万種の切手展示のほか、体験・体感型コンテンツも楽しめる。館内のポストには実際に手紙を投函でき、東京スカイツリー®の印影の日付印を押してくれる。

観光案内所情報

【浅草文化観光センター】
雷門前にある観光案内施設で、スタッフによる観光案内のほか、観光情報雑誌や端末での情報検索等が可能。カフェや休憩エリア、浅草や東京スカイツリー®が一望できる展望テラスもある。
📍 東京都台東区雷門2-18-9 🗺️ MAP A-2
🕒 9:00~20:00(8階展望テラスは22:00まで)

